

個別研修 テーマリスト

団体或は会社での時代に即したテーマによる講習会・講演会等に対応して講師派遣を行っています。
講師陣は技術経験豊かな業界のスペシャリストです。

プログラム -

	テーマ	講師	時間
1	・シックハウス規制後の実際とその対策 建築基準法シックハウス規制が施行されて一年、基準をクリアした材料も市場に普及しつつあるが、確認申請上や建材選定、換気設備等、生じている様々な課題の実際と、その対応を解説する。	・ 福本雅嗣(建築技術支援協会理事住宅技術部長・ 元住友林業技師長・一級建築士)	2～3時間
2	・深刻さを増すシックハウスの実態と測定方法、今後の住宅の対応 住宅においてひとたびシックハウスが起きた場合に、種々対策をしてもなかなか問題解決にいたらないクレームが多いが、現場調査した種々の結果と室内空気環境の問題点、今後の輸入住宅の対応を測定当事者の観点で最近の事例を元に解説する。	・ 山口陽二(環境リサーチ(株)代表取締役・ 建築技術支援協会会員)	
3	・住宅の省エネ対策と断熱工法のいろいろと輸入住宅の対応 アクティブ・パッシブ工法、ソーラーパネル等住宅の断熱に関し、様々な工法や材料のツールが市場に出回っているが、使用目的にあった住宅の工法や材料の選択が求められる。何がベターなのか各種断熱材料の特性・断熱の知識等を輸入住宅の事例を交えて解説し、構法と材料選択に資するとともに、最近注目されている外断熱工法とは如何なるものかについて解説する	・石井 宏(建築技術支援協会会員・ 住宅断熱コンサルタント・ICI 所長)	
4	・経営力を強化する住宅の総合的品質管理・・・ホームビルダー経営者必聴 非常に厳しい住宅市場であるが、このようなときにも一段と業績を伸ばさせているホームビルダーがそれぞれの地域に存在している。 住宅業界の古い間違った通念を打破して経営力を強化するホームビルダーの総合的品質管理とコストダウン手法を解説する。	・長井克之(日菱企画(株)代表取締役・ 住宅産業塾塾長)	
5	・現場(基礎・構造躯体)レベル±0への挑戦・・・現場品質は最強の営業力 今後の住宅市場は価格が安だけでは競争力にならない、現場品質を高めて、良品住宅を実現することが出来なければ、ユーザーの信頼は得られない、良品住宅 = 高コストではない、方策は如何	・大根弘士(住宅産業塾・技術コンサルタント・ 一級建築士)	
6	・ 住宅の防犯対策設計のポイントと事例。 最近住宅における空巣・盗難の被害が激増している。現在の住宅を盗難防止の観点から見直すと様々な盲点に気付かされる。大事な顧客の住宅を建築するに当たって、住宅の専門家として万全の住宅を提供することは私たちの責務である。	・阿部市郎(建築技術支援協会常務理事 元三井ホーム常務取締役・一級建築士)	

7	<p>・営業提案力強化と信頼されるホームビルダー技術営業</p> <p>これからは技術営業の時代である。しかし、ハードな技術とともにソフトな技術も習得してユーザーにわかり易い提案が出来なければ、信頼を得ることは出来ない。成功事例から学ぶ営業設計プレゼンテーション手法・品質管理・アフターメンテナンス・CSによる「勝ち残る経営力向上」について、住宅事例も交え解説する。</p>	<p>・阿部市郎(建築技術支援協会常務理事・元三井ホーム常務取締役・一級建築士)</p>	
8	<p>・住宅基礎の配筋方法</p> <p>住宅のコンクリート基礎において、的確な配筋は強度性能を確保する上できわめて重要である。</p> <p>そこで、ツーバイフォー工法を中心に木造軸組等も含めて、住宅基礎の配筋材料の種類・特性と基礎各部分の配筋方法と補強の留意点を解説する。</p>	<p>・伊藤一男(伊藤建築設計事務所・元大成建設(株)住宅事業本部技術部長・一級建築士)</p>	
9	<p>・地盤調査の実際と輸入住宅の軟弱地盤対策</p> <p>地盤に係る深刻なクレームは、枚挙の暇がないほどたえずマスコミに取り上げられているが、建築技術者の知識の不足している部分で、地盤の正しい知識と的確な基礎設計が肝要である。</p> <p>地盤と地層についての基礎知識・地盤調査方法・地盤改良方法・不等圧盛り土対応等について、輸入住宅の対応を含めて解説する。</p>	<p>・石井 茂(日本ミクニヤ(株)技術顧問・技術士建築技術支援協会会員)</p>	
10	<p>・地盤に係るクレームを未然に防ぐための対策</p> <p>深刻なクレームを惹起する不同沈下を起こさないような基礎設計をするためには、どうしたらよいのか!!地盤沈下のメカニズムと不同沈下の実例とその対策を学び、クレームを未然に防ぐ方策を探る。</p>	<p>・石井 茂(日本ミクニヤ(株)技術顧問・技術士)</p>	
11	<p>・住宅基礎の設計方法と木造住宅の対応</p> <p>せっかく、地盤調査を行っても、これを理解し的確な基礎設計が行われなければ「絵に描いた餅」である。</p> <p>地盤と基礎のトラブルを防止する地盤調査結果を受けて、それに対応する住宅基礎の設計方法を住宅の課題を含めて解説する。</p>	<p>・太田統士(太田一級建築士事務所長・建築技術支援協会理事・一級建築士)</p>	
12	<p>・ひび割れを生じさせないコンクリートの施工方法</p> <p>コンクリートにひびが入るのは止むを得ないと思っている、従来の誤った観念を覆し、「コンクリートの正しい知識と施工によってひび割れゼロのコンクリートを打つことが出来る!!」という、革新的なセミナーである。</p>	<p>・岩瀬文夫((株)総合コンクリートサービス代表取締役・建築技術支援協会会員)</p>	
13	<p>・海外に見る住宅のインテリアデザイン</p> <p>魅力的な住宅デザインには、外観のみでなく格調高いインテリアデザインが欠かせない。</p> <p>様々な魅力に富み格調のある、海外におけるインテリアデザインの事例と様式に従ったインテリアの手法を解説する。</p>		
14	<p>・インテリアデザインと各種内装材料の種類と適切な選択方法</p> <p>インテリアに合った内装材料の選択に当たって、仕様と特性を理解してトータルデザインを達成することによって、クレームのない顧客</p>	<p>・中村正實(元(社)日本インテリア産業協会副会長リフォームコンサルタント・建築技術支援協会会員)</p>	

	に満足されるグッドデザインの住宅を提供することが出来る。	
--	------------------------------	--

プログラム

	テーマ	講師	時間
1	「耐震診断と既存不適格建築物に係る構造規定の解説」 実地調査による既存建築物の構造安全性の確認方法と既存不適格建築物を調査して改修するためのさまざまな課題と改修基準の解説	・福本雅嗣(元住友林業技師長、建築技術支援協会住宅技術部長、1級建築士)	2～3時間
2	「住宅の免震工法の知識と実例」 地震では建物の被害のみならず室内什器家具の転倒散乱による怪我等が最近問題視されている。建物と室内の安全のためには免震工法が極めて有効である。開発者の立場から現在の免震工法の知識と実例を解説する。	・箭野憲一((株)テクノエーブ取締役事業部長)	
3	「営業力強化設計プレゼンテーション実技セミナー」 これからは技術営業の時代である。しかし、ハードな技術とともにソフトな技術も習得してユーザーにわかり易い提案が出来なければ、信頼を得ることは出来ない。2日間で住宅のカラーリング・陰影・点景描画技法等、成功する営業設計プレゼンテーション手法の基礎実技を習得する。	・阿部市郎(建築技術支援協会常務理事・元三井ホーム常務取締役設計部長・一級建築士)・	6～12時間